



# 岩瀬ヶ丘

## 読書のすすめ ～思いやりの心を育むために～

読書は子どもたちにとってどのような意味を持つのでしょうか、まずは次のような調査結果があります。

「児童生徒の読書活動は、教科の学力に影響を及ぼすことが確認された。特に、読書好きの児童生徒ほど教科の学力が高いという傾向が、非常に強固であることがわかった。また、平日における一定時間の読書も教科の学力と関係していることが示された。」

これは、静岡大学が行った「読書活動と学力・学習状況調査の関係に関する調査研究結果の結論」(平21年度)より一部抜粋したものです。

このことから読書は、「**子どもの学力**」に大きく影響してくることが分かります。しかし、学力以上に効果を及ぼすものがあります。それは、「**子どもの心**」です。

現在、子どもたちに豊かな心、とりわけ思いやりの心を育てることが大きな課題となっています。そしてそのためには「**想像力**」が必要であると言われていています。相手の置かれている状況や気持ちをいち早く想像して言葉や行動に表すことが思いやりです。そして、**読書**をすることによりこの想像力が養われ世界が広がり感動する心がもてるようになり、やがては思いやりの心が育つことにつながるのです。

一冊の本を紹介します。柴田トヨ著「くじけないで」飛鳥新社。

柴田トヨさんは、1911年(明治44)栃木市に生まれました。90歳を過ぎてから作詩を始め98歳の時「くじけないで」を刊行し、詩集としては異例のミリオンセラーとなりました。

道(あなたに――)

好きな道なら  
でこぼこ道だつて  
歩いて行けるわ  
辛くなったら  
少し休んで 空を見て  
まっすぐ  
歩いて行くのよ  
ついて来るわよ  
あなたの影が  
がんばれつて  
言いながら

くじけないで

ねえ 不幸だなんて  
溜息をつかないで  
ひやし 陽射しやそよ風は  
えこひいきしない  
夢は  
平等に見られるのよ  
私 辛いことが  
あつたけれど  
生きていてよかった  
あなたもくじけないで

ことば

何気なく  
言った ことばが  
人を どれほど  
傷つけていたか  
後になって  
気がつくことがある  
そんな時  
私はいそいで  
その人の  
心のなかを訪ね  
ごめんなさい  
と 言いながら  
消しゴムと  
エンピツで  
ことばを修正してゆく



「人にやさしくする。そして、やさしくしてもらったら忘れない。これが百年の人生で学んだことです。」と詩集の最後の部分で述べられています。

柴田トヨさんは2013年1月20日、老衰のため101歳でなくなりました。

日本の原風景を思わせる素朴な詩心は、柴田さんの多くの作品にあふれています。気負いも、気取りもないことばで人生の喜怒哀楽をうたいながら「誰にも人生、辛いことや、悲しいことがある。だけどいつまでもめそめそしてられない」と読者に語りかけています。

親子で同じ時間に同じ場所で読書をする機会をもつことが効果的だと言われていています。お子さんと一緒に「夜読書」をやってみてはいかがでしょうか？

## 須二中学区内の小中一貫、小・中・高連携授業研究会 ～小・中・高生の学力向上のために～

学区内の小学校及び岩瀬地区内の高校と連携した授業研究会を、11月19日に行いました。子どもたちの学力をどう伸ばしていくか校種の枠を超えて考え、より良い指導法を学ぶことを目的としています。二小、阿武隈小、柏城小、須賀川高校、桐陽高校、清陵情報高校、岩瀬農業高校の先生方に足を運んでいただき、国語・数学・社会・理科の4つの授業を参観していただきました。



【1年 国語の授業 小山悟教諭】

【3年 社会科の授業 影山健教諭】

【授業後の研究協議会】

《授業後の研究会で特に話題となったこと》

国語科部会では、文字をていねいに書く指導が話題になり、高校入試での採点基準に影響するとのこと。数学科部会では、小・中・高への学習内容の系統・発展を教師が理解して指導することが大切である。理科部会では、高校から、自分の力でまとめることができる生徒を育ててほしい。法則などの基礎基本をしっかり身につけさせてほしい。社会科部会では、小中連携して「授業の約束」や「学習の約束」を徹底していく必要があるなど、各部会で有意義な話し合いがなされました。今後も小中一貫教育を推進していくとともに、高校との連携も強化して子どもたちの学力向上を図っていきます。

### 栄光を讃えて 須二中生の素晴らしい活躍！

- 福島県新人バドミントン競技 男子団体 第3位 (東北大会出場)
- 同 男子シングルス 第2位 大畑龍平 (東北大会出場)
- 同 男子ダブルス 第5位 清水尚弥・橋本晃瑠 (東北大会出場)
- 福島県中学校新人バスケットボール大会 男子 第3位
- 福島県中学校ソフトテニス新人大会 個人男子の部 第5位 曾田遥輝・吉田英斗
- 県中地区中学校新人ソフトテニス大会 男子 団体 第3位 女子 団体 第2位
- 同 男子個人 第1位 ミヒニャック瑠偉・芳賀勇斗 第2位 曾田遥輝・吉田英斗  
第3位 河村優希・遠藤陸
- 県中地区新人バスケットボール 男子 第1位 女子 第2位
- 県中地区中学生新人バドミントン競技大会 男子団体 第1位
- 同 男子シングルス 第1位 大畑龍平 男子ダブルス 第1位 清水尚弥・橋本晃瑠
- 県南中学校新人卓球大会 男子団体 第2位
- 平成26年度 岩瀬地区読書感想文コンクール 特選 1年 馬飼野若奈 3年 中澤亜美  
準特選 2年 阿部愛海 3年 荒川南
- 第55回晩翠あおば賞 2年 関根妃奈乃
- 平成26年度 健康優良生徒 3年 安藤菜々子 飯岡大輔

### 感謝



昭和63年度に本校を卒業した282名を代表して、高橋康浩様、坂井亜紀子様が来校し、「図書」を寄贈していただきました。



昭和35年度に本校を卒業した二瓶幸雄様はじめ野球部のOBの方々6名が来校され、野球部活動のためにボールを寄贈していただきました。